

2023年度事業報告書

学校法人葛谷学園

中和医療専門学校

「2023年度事業報告書」

I 管理部門

(1) 教育環境の向上

1. 施設備品の整備充実

①パソコン関連機器（授業用ノート PC、ウイルス対策用ソフト、研究用 PC 等の一部買い換え）

2. 経費削減への取り組み

コピー紙等消耗品、光熱費ほか、経費削減に引き続いて努力した。

(2) 入学生の確保

1. 入試関連事項

1) 受験料の減免

平成28年度入試から、入学検定料を15,000円に減額した。また学校説明会参加者にはさらに5,000円減額し、受験者の負担を減らし受験しやすくしている。

2) 受験者数と入学者数

総受験者数は、対前年比2名減少（柔整科Ⅱ部募集停止）の111名であった。科別受験者数は、対前年比で本科は6名増加の83名、専科は5名減少の15名、柔整科Ⅰ部は3名減少の13名であった。

入学者数は、**対前年比**で3名増加の104名であった。科別入学者数は、対前年比で本科は増減なしの70名、専科は2名増加の21名、柔整科Ⅰ部は1名増加の13名であった。

3) 指定校推薦

平成24年度入試から専科と柔整科に導入している指定校推薦入試の2023年度の指定校数は109校であった。

（参考：過年度受験者数）

2018（H30）年度入試	：	6名（専1、柔整昼 4、夜1）
2019（H30・R1）年度入試	：	3名（専1、柔整昼 2、夜0）
2020（R2）年度入試	：	3名（専1、柔整昼 2、夜0）
2021（R3）年度入試	：	2名（専0、柔整昼 2、夜0）
2022（R4）年度入試	：	4名（専1、柔整 3名）
2023（R5）年度入試	：	2名（専1、柔整 1名）

4) A0 入試の導入

近年の本校への入学志望者の減少及び推薦入試と一般入試に係る受験者数の比率等を鑑みて入試の早期実施を行う必要があるため、2019年度にA0入試を専科と柔整科に導入した。2023年度の出願者は専科0名、柔整科7名の計7名、入学者は出願者と同じ7名であった。

5) 本科の試験実施時期

本科の試験回数は平成30年度より10月、11月、翌年1月の3回実施している(推薦除く)。2023年度は2019年度にその時期を社会人ターゲットとして11月、翌年1月、2月に変更したものを踏襲した。

2. 学校案内・募集要項の改訂

志願者数が減少する中で志願者をより多く確保するため、毎年度、記事の一部変更や写真の更新を行い、より良い内容のものとなるように改訂を行っている。

3. 学校説明会(オープンキャンパス)の実施

2023年度は感染防止対策を緩和しつつ実施した。

回数は14回実施し、参加者数は203名であった。また同年度から説明対象を全科にしたナイトオープンキャンパスは9回実施し、参加者数は27名であった。なお開催様式は両者とも対面式で開催した。

(参考 2022年度:204名、2021年度:240名、2020年度:238名、2019年度:286名)

4. 学校訪問・進路相談会

2023年度は6月に愛知県内の学校55校を訪問した。

また、高校内で行われる進路ガイダンスには17回参加した。なお毎年度開催されているイベント会場での大規模進学相談会は1回参加した。

5. 広報活動について

ホームページと学校案内・募集要項とは同一業者に委託し、同じコンセプトのもと、志願増加を目指した。

○広告媒体の現状。

- ・学校案内等を卒業生や関係団体宛に送付。
- ・進学ネットサイト検索の充実(「マイナビ進学」:マイナビ)
- ・進学ネットサイト検索と、資料送付(「進路のミカタ」:マイナビ)
- ・進学ネットサイト検索の充実(「スタディサプリ進路」:リクルート)
- ・社会人の医療系への転職希望者に対してダイレクトメールを送付(リクルートより)。
- ・学校説明会参加者及び業者アクセス者のリストをもとにダイレクトメール発送。

(3) 生徒への取り組み

1. レクリエーションの実施

コミュニケーション能力を育み、クラス内親睦、学年間の交流そして他学科の生徒とも友好的な人間関係を形成することを目的としている。2023年度は稲沢ボウリング場で開催した。

2. 退学者予防対策

頻回の担任による個別面談で学生をフォローすることで学期に臨んだ。2023年度の退学者は10名であった。前年の2022年度は5名であった。

3. 学生生活指導

入学次の「挨拶指導の徹底」。担任による頻回の面談などに取り組み、入学時のミスマッチ、単位未修得者の低減を図った。

4. 授業アンケートの実施

教員の授業を改善していく資料として役立てるために、本科・専科・柔整科の学生全員を対象に授業アンケートを実施した。2023年度は前期末、後期末に2回実施した。

5. 国家試験合格率100%をめざして

国家試験合格率100%を目指して、課外補修授業や模擬試験等の実施を行った。

2023年度新卒国家試験結果は「あま指師国家試験」では89.6%、「はり師国家試験」では79.5%、「きゅう師国家試験」では79.5%、「柔道整復師国家試験」では84.6%であった。年度末に総括を行い、次年度に反映させる。

(4) 就職への取り組み

1. 企業展の開催

毎年度、卒業生の就職先の確保のための企業説明会を実施している。2023年度は6月に対面方式の説明会を実施した。

2. 就職相談会の実施

毎年度3月に就職が決定していない卒業生を対象に就職相談会を実施している。

2023年度は2024年3月14日に開催し0名の参加があった。

(5) 近隣地域との取り組み

1. 「私学を良くする愛知父母懇談会」との取り組み

毎年度、私学を良くする愛知父母懇談会主催の企画に、本校を会場提供するとともに、二つの企画が毎年度、夏（6月）と秋（11月）に開催された。

・春：名称：「初夏のつどい」

・秋：名称：「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」：

2. ボランティア活動の取り組み

毎年度、外部からボランティア活動の参加要請があり学生と教員が参加してきたが、ボランティア活動に対する考え方の見直しから、2023年度は参加を見送った。

II. 教育部門

(あはき科・はき科)

1. 教員研修会

(公社) 東洋療法学校協会主催 第46回 教員研修会

日時：2023年8月24日(木)・25日(金)

場所：かがわ国際会議場(香川県高松市)

主管校：四国医療専門学校

テーマ：Well-being 実現に繋がる多職種・他業種・地域連携

教員7名が参加した。

2. (公社) 東洋療法学校協会あま指実技審査・はりきゅう実技審査

1) あま指実技審査

本科3年生を対象として、9月6日(水)に(公社)東洋療法学校協会主催あま指実技審査を実施した。この試験は、学校協会に加盟する他校の教員が評価者として派遣され、生徒が行うあん摩・マッサージ・指圧の実技を評価した。合格者には、後日学校協会から認定書が発行された。

2) はりきゅう実技審査

本科・専科3年生を対象として、9月22日(金)に(公社)東洋療法学校協会主催はりきゅう実技審査を実施した。この試験は、学校協会に加盟する他校の教員が評価者として派遣され、生徒が行うはり・きゅうの実技を評価した。合格者には、後日学校協会から認定書が発行された。

3. 学術大会

(公社) 東洋療法学校協会主催 第44回 学術大会

日 時 : 2023年10月13日(金)

場 所 : 吹田市文化会館((大阪府吹田市)

主管校 : 明治東洋医学院専門学校

代表として本3Aの1グループがポスター発表を行った。

4. 実習科目の複数指導者体制

実習科目について2023年度においても、あはきの基礎実習(本科の1年次のあん摩基礎実習・はり基礎実習H・きゅう基礎実習H、2年次の指圧基礎実習・はり基礎実習H-II・マッサージ基礎実習・はり基礎実習H-III、専科の1年次のはり基礎実習S-I・きゅう基礎実習S、2年次のはり基礎実習S-II・はり基礎実習S-III)と1年次のあん摩応用実習Iを教員と実習助手の2名体制で授業を行った。実習科目の初動教育を充実させ、これを本校の特色とし他校との差別化を図った。

5. 臨床実習(4単位 180時間)

2年次1月より3年次12月までの期間に、附属治療所にて臨床実習を実施した。

1) 2年次

本科は週3回、専科は週4回実施した。春季休業中は各クラス3日(各日7時間)実施した。また、生徒が1月からの臨床実習に対応できるよう、臨床実習開始前の12月に常勤教員による治療所入室説明会を行った。

2) 3年次

本科は週3回(うち1回はクラスの半分が週ごとに入替)、専科は週4回(うち2回はクラスの半分が週ごとに入替)実施した。夏季休業中は各クラス4日(各日7時間)実施した。2022年度までは、新型コロナウイルス感染症対策としてベッド数を制限していたが、2023年度は16床満床での実習を目指し、順次稼働ベッド数を増やしながらか実習を行った。

6. 国家試験対策として補講講座および模擬試験の充実

1) 既卒生の国家試験対策補講講座

国家試験不合格者を対象として、5月から水曜日・木曜日の週2日(全30回)国家試験対策補習講座を開講し、既卒生国家試験合格率向上に努めた。

2) 3年生の国家試験対策補講講座

3年生で学力確認試験の成績が下位の生徒を対象として、前期は5月から後期は10

月から火曜日・金曜日の週2回、3限授業後に国家試験対策補講講座を実施し、在校生国家試験合格率向上に努めた。

3) 国家試験模擬試験

本科・専科3年生を対象として、合計4回模擬試験を実施した。6月29日(木)には学内で作成した学力確認試験(はき)を、11月16日(木)には(公社)東洋療法学校協会主催の統一模擬試験(あはき)を、12月13日(水)には理療科教員連盟作成の国家試験模擬試験(はき)を、1月16日(火)には学内で作成した国家試験模擬試験(あはき)を実施した。

4) 1・2年生学力確認試験の実施

本科・専科の1・2年生を対象として、3月6日(水)に学内で作成した学力確認試験を実施した。

7. 解剖見学実習および基礎医学実習の実施

1) 解剖見学実習

本科・専科2年生を対象として、5月9日(火)、16日(火)に岐阜大学医学部にて解剖見学実習を実施した。

2) 基礎医学実習

本科・専科2年生を対象として、8月7日(月)から10日(木)の期間に基礎医学実習を実施した。実習内容は心電図または皮膚感覚の生理学実習で、実習後、各自レポートを作成した。

8. 臨床実習前施術実技試験

本科・専科2年生を対象として、11月18日(土)に臨床実習前施術実技試験を実施した。この試験は新カリキュラムでは実施が必須となっており、試験内容は学科試験のほか、本科・専科共通課題としてはり実技、きゅう実技及び経穴指示、さらに本科ではあん摩の実技を行った。

9. 救急救命(AED)講習の実施

本科・専科2年生を対象として、9月15日(金)、20日(水)、21日(木)の期間に、稲沢消防署による心肺蘇生法・自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした救急救命講習を実施した。

10. サブスペシャリティー講座（あはき・柔整合同）

学力および実技技術の向上、卒業後即戦力となる人材育成を図るべく、サブスペシャリティー講座を正規授業終了後にそれぞれ週1回（全10回）実施した。

【前期】

2年生：基礎実技Ⅰ、経穴学、解剖生理学Ⅰ、総合Ⅰの4講座

3年生：エコー、テーピング、経絡治療、関節アプローチ、予防プログラムの5講座

【後期】

2年生：基礎実技Ⅱ、東洋医学基礎、解剖生理学Ⅱ、総合Ⅱ、トレーニング講座、美容鍼、トリガーポイント、触診の8講座

11. 特別講演会の実施

1) 第1回特別講演会

「目標の叶え方」（トレーナー経験ゼロでプロトレーナーになったキッカケ）と題し、8月4日（金）に西井宏昌先生の講演を実施した。スポーツトレーナーとしての活動内容やトレーナーとなった経緯などを、はり実技を交えながらお話頂いた。

2) 第2回特別講演会

「ライブトレーナーに求められるもの」と題し、12月22日（金）に兼田健生先生の講演を実施した。ライブトレーナーの活動内容についてははり実技を交えながらお話頂いた。

12. 新入生および在校生の退学予防の施策

1) 新入生歓迎会の実施

4月25日（火）に新入生歓迎会と称して稲沢グランドボウルにてボウリング大会を実施した。

2) 新入生および在校生に対する教員による担任クラス生徒との面談

生徒の状況を確認し、適切な指導を行うべく随時個別面談を行った。特に新入生に対しては4月から5月の期間で個別面談を行い、生徒の状況を確認すると共に早期の退学防止を図った。

13. 学科・実技合同打合せ会の実施

常勤教員、非常勤教員、実習助手を対象として、4月3日（月）、12月22日（金）に学科・実技合同打合せ会を実施した。授業等における内容確認や授業内容の検討、生徒に関する情報の共有を行った。

(柔道整復科)

1. 教員研修会

(公社) 全国柔道整復学校協会主催教員研修会

日 程：2023年9月23日(祝土)、24日(日)

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 福岡県北九州市小倉北区浅野 2-14-2

主 管 校：学校法人国際学園 九州スポーツ専門学校

テ ー マ：柔道整復の新時代へ

教員1名が参加した。

2. 認定実技審査

(公財) 柔道整復研修試験財団認定実技審査(柔道整復実技と柔道実技)

日 程：2023年11月19日(日)

場 所：本校4号館

審査方法：整復実技・・・通常通り実施

柔道実技・・・礼法、受け身、投の形、口述審査

約束乱取は行わない

対 象：柔整科3年生(19名)

対象生徒全員が合格した。

3. 柔道大会

1) (公社) 全国柔道整復学校協会主催柔道大会

日 程：2023年8月31日(木)

場 所：東京武道館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加できなかった。

2) (公社) 愛知県柔道整復師会主催愛知県柔道整復専門学校柔道大会

日 時：2023年7月2日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

4. 実技科目の複数指導者体制

1年の実技科目(実技Ⅰ、実技Ⅱ)については生徒の習熟度向上の目的のために教員2名体制で行った。柔道実技においても傷害防止と志気向上の目的のために2名以上の指導体制で行った。

5. 臨床実習（4単位 180時間）

- ・学内臨床実習（3単位 135時間）

期 間：2年次10月から3年次9月まで

週2回実施（祝日、行事、夏季休業、学年末休業は除く）

- ・学外臨床実習（1単位 45時間）

期 間：夏季休業中：3年生 学年末休業中：2年生

生徒1人につき8日間実施（1日あたり6時間実施）

6. 国家試験対策として補講講座および模擬試験の充実

1) 既卒生の国家試験対策補講講座

国家試験不合格者を対象として、5月から火曜日・木曜日の週2日間、国家試験対策補習講座を開講し、既卒生国家試験合格率向上に努めた。

2) 3年生の国家試験対策補講講座

3年生で成績下位の生徒を対象として、5月から火曜日・木曜日の週2回、3限授業後に国家試験対策補講講座を実施し、在校生国家試験合格率向上に努めた。

3) 国家試験模擬試験

3年生を対象として、合計3回模擬試験を実施した。7月1日（土）、12月3日（日）には学内で作成した国家試験模擬試験を、12月5日（火）には（公社）全国柔道整復学校協会の統一模擬試験を実施した。

4) 2年生実力試験の実施

2年生を対象として、7月1日（土）、12月3日（日）に学内で作成した実力試験を実施した。

7. 解剖見学実習の実施

5月11日（木）に岐阜大学医学部にて解剖見学実習を実施した。

8. 臨床実習前施術試験等の実施

対 象：柔整科2年生（26名）

日 程：柔2A：10月3日（火）11:00～12:40

柔2B：10月2日（月）18:20～19:50

試験内容：学科試験・・・口頭試問

実技試験・・・ROM測定

対象生徒全員が合格した。

9. 救急救命（AED）講習

柔整科2年生を対象として、8月29日（火）、8月30日（水）の期間に、稲沢消防署による心肺蘇生法・自動体外式除細動器（AED）の使用法を中心とした救急救命講習を実施した。

10. サブスペシャリティー講座（あはき・柔整合同）

学力および実技技術の向上、卒業後即戦力となる人材育成を図るべく、サブスペシャリティー講座を正規授業終了後にそれぞれ週1回（全10回）実施した。

【前期】

2年生：総合Ⅰの1講座

3年生：エコー、テーピング、関節アプローチ、予防プログラムの4講座

【後期】

2年生：総合Ⅱ、トレーニング講座、触診の3講座

11. 特別講演会の実施

1) 第1回特別講演会

「膝関節痛へのアプローチ」と題し、8月4日（金）14:00～15:30に早川 真先生の講演を実施した。早川 真先生はスキー場の救護活動などを行っており骨折や脱臼に対する経験が豊富です。講義では膝関節への施術方法を多数紹介して頂いた。

2) 第2回特別講演会

「ファシリタリリリースの可能性と展望」と題し、12月22日（金）14:00～15:30に大野有三先生の講演を実施した。講義では、生徒全員がフロッシングバンドを用いたアプローチを体験することができた。生徒にとっては新たな施術方法を知る機会となった。

12. 新入生および在校生の退学予防の施策

1) 新入生歓迎会の実施

4月25日（火）に新入生歓迎会と称して稲沢グランドボウルにてボウリング大会を実施した。

2) 新入生及び在校生に対する教員による担任クラス生徒との面談

担任教員を中心に全生徒に対して個別面談を実施した。学力が伸び悩んでいる生徒に対しては担任以外の教員からも声掛けし学習支援を行った。